

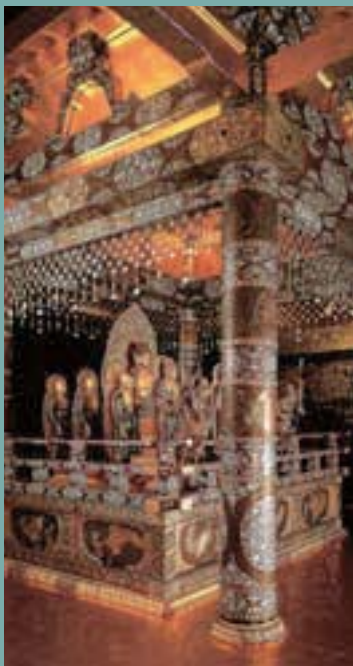
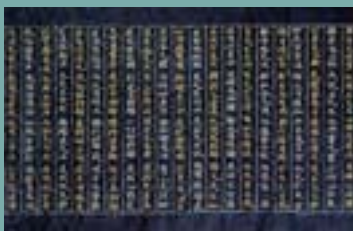
## 宗内寺院紹介 10

## 関山 中尊寺



中尊寺は、嘉祥三年（八五〇）、慈覚大師円仁の開山と伝えられる。平安時代の末期、奥州藤原氏初代清衡公によって大伽藍が建立された。清衡公は前九年・後三年の合戦を自ら体験し、一人生き抜き、一人勝ち抜いたが、妻子をはじめ肉親の全てを失ってしまった。陸奥押領使となった清衡公は、平泉に居を移し、中尊寺建立に着手した。それは永い戦乱で荒廃した民心の安寧を願うものであり、またそのような中で命を落とした敵味方の霊、あるいは戦禍に巻き込まれた生類の冤霊をも等しく慰めるためであり、みちのくに二度と争いのない平和な世界、『仏国土』をつくらうとする強固な意志のあらわれであった。

建武年間の火災により多くの堂塔は消失したが、金色堂をはじめ三千余点の国宝・重要文化財を伝える平安仏教美術の宝庫である。



住所／〒029-4102 岩手県西磐井郡平泉町平泉衣関202  
 電話番号／0191-46-2211  
 拝観時間／年中無休 3月1日から11月3日まで、8:30～17:00／  
 11月4日から2月末日まで、8:30～16:30  
 諸行事、拝観料等については、HP(<http://www.chusonji.or.jp/>)  
 をご覧下さい。2011年6月にユネスコ「世界遺産（文化遺産）」に  
 登録されました。

関山 中尊寺